

平成23年中の危険物に係る事故の概要

危険物保安室

1 危険物施設における事故発生件数

平成23年中（平成23年1月1日～12月31日）の危険物施設における火災及び流出事故の合計件数（東北地方太平洋沖地震その他最大震度6弱以上の地震によるものを除く。）は、585件（火災189件、流出396件）と前年に比べ49件の増加となっています。

近年の事故件数は平成19年の603件（火災169件、流出434件）をピークとし、平成20年、21年は減少していましたが、その後平成22年、23年と再び増加し、高い水準で推移しています。平成元年以降最も事故件数が少なかった平成6年と比べると、危険物施設数は減少して

いるにもかかわらず、事故発生件数は約2倍に増加しています（図1参照）。

また、無許可施設、危険物運搬中等の危険物施設以外での火災及び流出事故の件数は25件（前年29件）と減少しており、その内訳は火災事故が12件（前年10件）、流出事故が13件（前年19件）となっています（表1参照）。

2 危険物施設における火災事故の発生状況等

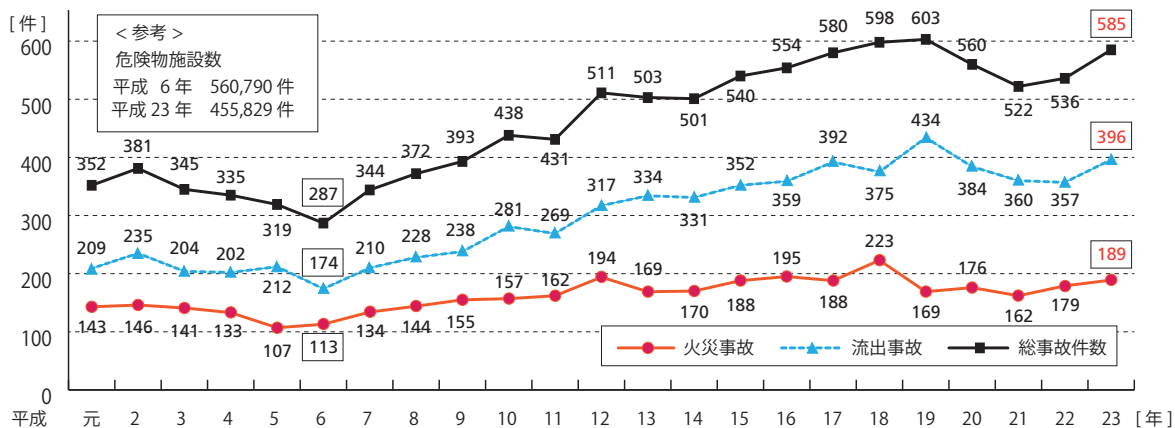
ア 火災事故による被害の状況等

平成23年中に危険物施設において発生した189件（前年179件）の火災事故による被害は、死者1人（前年1人）、負傷者51人（前年66人）、損害額9億9,365.0万円（前年5億5,617.5万円）となっています。前年に比べ、火災事故の発生件数は10件、損害額4億3,747.5万円増加しましたが、死者は変わらず、負傷者は15人減少しています（表1参照）。

イ 出火の原因に関係した物質

平成23年中に発生した危険物施設における火災事故の

図1 危険物施設における火災及び流出事故発生件数の推移



(注) 事故発生件数の年別の傾向を把握するために、震度6弱以上（平成8年9月以前は震度6以上）の地震により発生した件数を除いています。

表1 平成23年中に発生した危険物に係る事故の概要

区分	事故の態様 事故件数等	危険物に係る 事故発生件数				火災				流出事故				その他 発生件数
		発生件数	被害			発生件数	被害			発生件数	被害			
			死者数	負傷者数	損害額(万円)		死者数	負傷者数	損害額(万円)		死者数	負傷者数	損害額(万円)	
危険物施設	750	189	1	51	99,365	396	0	12	27,617	165				
危険物施設以外	無許可施設	10	9	0	12	6,257	1	0	0	0				
	危険物運搬中	14	2	0	1	12	12	0	7	2				
	仮貯蔵・仮取扱	1	1	0	3	0	0	0	0	0				
	小計	25	12	0	16	6,269	13	0	7	2				
合計	775	201	1	67	105,634	409	0	19	27,619	165				

出火原因に関係した物質（以下「出火原因物質」という。）についてみると、189件の火災事故のうち、危険物が出火原因物質であった火災事故は124件であり、このうち113件が第4類の危険物でした。これを危険物の品名別にみると、第1石油類が50件で最も多く、次いで第3石油類が23件、第4石油類が15件、第2石油類が12件の順となっています。

ウ 火災事故の発生原因

平成23年中に発生した危険物施設における火災事故の発生原因を、人的要因、物的要因及びその他の要因に区分してみると、人的要因が108件（57.2%）で最も多く、次いで物的要因が45件（23.8%）となっています。個別にみると、維持管理不十分が40件（21.1%）で最も多く、次いで操作確認不十分が27件（14.3%）となっています（図2参照）。

不十分によるものが44件（11.1%）、維持管理不十分によるものが40件（10.1%）の順となっています（図3参照）。

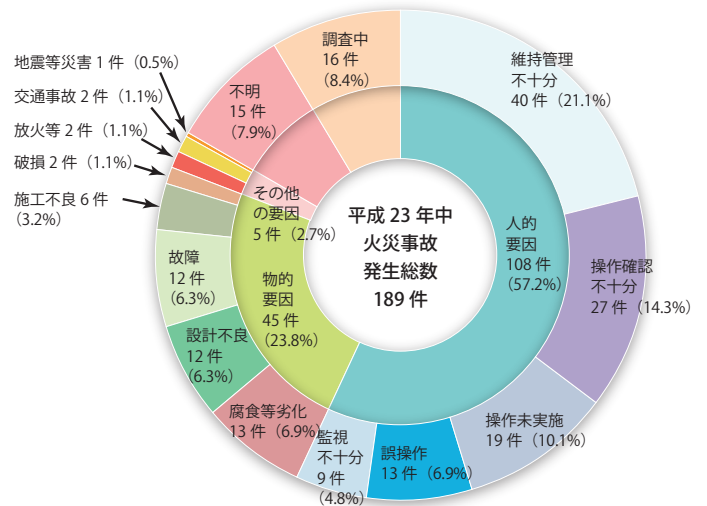


図2 危険物施設における火災事故発生原因

3 危険物施設における流出事故の発生状況等

ア 流出事故による被害の状況等

平成23年中に危険物施設において発生した396件（前年357件）の流出事故における被害は、死者0人（前年0人）、負傷者12人（前年12人）、損害額2億7,617万円（前年4億7,284万円）となっています。前年に比べ流出事故の発生件数は39件増加しましたが、損害額は1億9,667万円減少しました（表1参照）。

イ 流出した危険物

平成23年中に発生した危険物施設における流出事故の流出した危険物についてみると、396件の流出事故のうち、395件が第4類の危険物となっています。これを危険物の品名別にみると、第2石油類が150件で最も多く、次いで第3石油類が146件、第1石油類が80件の順となっています。

ウ 流出事故の発生原因

危険物施設における流出事故の発生原因を、人的要因、物的要因及びその他の要因に区別してみると、物的要因が208件（52.5%）で最も多く、次いで人的要因が149件（37.6%）となっています。個別にみると、腐食等劣化によるものが138件（34.8%）で最も多く、次いで操作確認

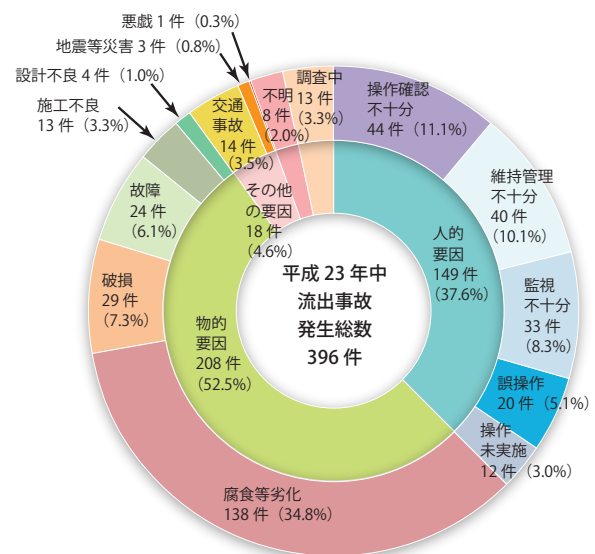


図3 危険物施設における流出事故発生原因

4 まとめ

以上のことを踏まえ、今後とも、危険物施設等の確実な点検、危険物に係る作業に従事する従業員等への充実した保安教育等を実施することにより、人的要因による事故を起こさないよう配慮するとともに、老朽化した危険物施設等にあつては、適切に補修、取替え等の措置を講じていく必要があります。

詳しくは、消防庁ホームページをご参照ください。
(<http://www.fdma.go.jp>)